

## 1 平成29年度新規事業紹介

## (1) 天皇杯(男子)・皇后杯(女子)1次ラウンドの開催

栃木県の代表を決める6チーム(クラブ4・高1・大学1)によるトーナメント決定戦を行い、その決勝戦を天皇杯・皇后杯の一回戦とし、優勝チームが2次ラウンドに進みます。

2次ラウンドは、東地区・北海道釧路市(9/16~18)で15都道府県の代表チームとB2(6チーム)が参加します。

3次ラウンドは、2次ラウンドで勝利したチームと、B1クラブとWリーグ所属チームが参加して、全国8会場で開催されます。この3次ラウンドは、B1クラブにも主管権が与えられ、11/25~26にブレックスが主管して県北体育館において開催されます。3次ラウンド全国8会場で勝ち残った8チームが、1/4~7の決勝トーナメントに出場することになります。

Bリーグ初代王者となったブレックスは、未だ天皇杯を獲得していません。ぜひ、Bリーグ初代王者として、新方式となった天皇杯を獲得して、2冠を制覇してもらいたいです。また、昨年、大学選手権で優勝して皇后杯に出場した白鷗大学女子部、同じく大学選手権で3位となり天皇杯に出場した白鷗大学男子部は、1次ラウンドからの出場となりますが、2次・3次ラウンドと勝ち抜いて決勝トーナメントへの進出が期待される所です。

栃バ協では、1次ラウンドを主催し、3次ラウンドのブレックス主管を協力・支援して大会を成功させたいと考えています。どうぞ皆様方には、会場まで足をお運びいただき、選手へ熱い声援をおかけください。

## (2) 賛助会員の募集

栃バ協では、法人化2年目をむかえ、今後の活動方針として、**「バスケットボールで「とちぎ」を元気にします!!」**を掲げ、平成34年に開催される第77回栃木国体へ向けジュニア育成強化事業に取り組んでいるところです。

そこで、事業拡大を図り、活動財源を確保するために、バスケットボールを愛好される皆様方に趣旨をご理解いただき、賛助会員を募集する次第です。会員となられた方々には、会員証の発行や協会だよりの送付、ブレックスホームゲームへのご招待など魅力的な会員特典も用意しました。どうぞ、賛助会にご加入ください。興味のある方は、協会事務局までお問い合わせください。

## 2 平成29年度大会予定・結果

## (1) 平成29年度県下一般男女バスケットボール選手権大会兼第72回国体選手選考会(4/2~5/28 リーグ戦)

男子A-Jブロック優勝チーム

A: 烏山GREAT DIPPERS B: 白鷗大学B  
C: 鏝阿 D: ONE E: 極 F: 瀧乃原クラブ  
G: BREMEN H: CROW I: HONDA Nut'z  
J: 男塾

女子A-Bブロック優勝

A: TBC B: 女盛

※ 男・女ともに、各ブロックリーグ順位に従って天皇杯・皇后杯1次ラウンドの各順位リーグに進む。

## (2) 県高校総体兼関東高校県予選(5/6~14 鹿沼フォレスト他)

男子決勝リーグ戦結果

優勝: 文星芸大附高(3勝) 2位: 宇工(2勝1敗)  
3位: 宇短大附高(1勝2敗) 4位: 白鷗足利(3敗)

女子決勝リーグ戦結果

優勝: 白鷗足利(3勝 初) 2位: 宇中女(1勝2敗)  
3位: 作新(1勝2敗) 4位: 矢中央(1勝2敗)

※2位~4位は同勝率であるため、3チーム間の得失点差による。

※男女ともに、上位2チームが関東大会に出場する  
男子: 東京都体育館 女子: 船橋市総合体育館  
(6/3~4) (6/10~11)

## (3) 県中学校春季体育大会(6/3~4 県北体育館他)

男子決勝リーグ戦結果

優勝: 小城南中(3勝) 2位: 小山中(2勝1敗)  
3位: 一条中(1勝2敗) 4位: 豊田中(3敗)

女子決勝リーグ戦結果

優勝: 陽南中(3勝) 2位: 西方中(2勝1敗)  
3位: 姿川中(1勝2敗) 4位: 小三中(3敗)

今回の大会を観戦して、1・2年生の活躍が目立ちました。特に1年生は、4月に入学して二月足らずなのに、3年生に引けを取らないプレー、将来が楽しみです。これも、協会のジュニア育成強化事業の成果であると自画自賛しています。

## (4) 関東大会(高校)

男子結果(6/3~4 東京都体育館)

文星芸大附高・宇工ともに一回戦で敗退

女子結果(6/10~11 船橋市総合体育館)

白鷗足利は二回戦、宇中女は一回戦で敗退  
他県のチームと比較してみると、体格・身長において格差があり、シュートの確率にも差が感じられます。今後、インターハイやウィンターカップ等で上位を目指すためには、平面的な粘り強いディフェンスで相手をかく乱しながらスチールを狙い、さらにシュートの確率を下げさせ、リバウンドやルーズに積極的に跳び込みボールを奪い取り、オフェンスでは厳しい状況の中でも確実に得点できる集中力とシュート力が不可欠です。ブレックスはチーム力でBリーグ初代王者となりました。高校生の皆さんも、日々の練習において、より高みを目指しながらチームで団結してそれぞれが抱える課題を解決して、大きな夢にチャレンジしてください。

## (5) 全国及び関東ママさん県予選(5/20 トレセン) 関東大会予選

一般の部 優勝: マロニエM・C 2位: MFC.AQUA  
※2チームは、11/4・5に山梨県で開催される関東大会に出場する。

全国大会予選

交歓大会: 栃木オールスターズ2勝 BBC2勝  
※栃木オールスターズは7/29・30に広島県で開催する全国大会に出場する。

## (6) インターハイ県予選会(6/17~25 栃木市体育館)

男子結果

優勝: 文星芸大附高 2位: 宇工  
3位: 小山城南高 4位: 大田原高

女子結果

優勝: 白鷗足利高(初) 2位: 作新学院  
3位: 矢板中央高 4位: 宇都宮中央女高

男女ともに、順当に文星芸大附高と白鷗足利高が優勝しました。文芸附高はテンポの良いシュートが入り宇工を圧倒しましたが、課題は平面的なディフェンス力とリバウンドの強化ということになるでしょう。白足高はディフェンス力の強化が窺え、初優勝は見事でした。課題は、安定したシュート力の強化、自得点を下回る失点に相手を抑えるためにも、80点以上の得点力が欲しいところです。

# BREX 特集

## 初代王者への道のり

5月27日(土)、国立代々木第一体育館は、ブレックスのホームコートとなっていました。公式発表10,144人の入場者の7割以上を、黄色のTシャツを着た栃木の集団が詰めかけてくれていたのです。栃木ファンの声援は選手を後押し、幾度となく訪れたピンチでは、その声援が大きくなるとなるとブレックスの選手を奮い立たせ、川崎陣営に襲いかかっていきました。田臥選手は勝利者インタビューの中で「なりよりも、一緒に戦ってくれたファンのおかげ」とコメントしてくれました。5月14日(日)のクォーターファイナル、22点差を逆転し千葉に勝利、また、5月21日(日)のセミファイナル、19点差を追いつき第3戦に纏れ込む死闘を制し勝利、迎えた決勝戦では、14度と繰り返された逆転に次ぐ逆転の応酬戦を制覇して初代王者に輝きました。ブレックスは、我々の誇りであるとともに、我々と一体化したチームなのです。そこで今回は、『初代王者』への道のりを、選手・スタッフのコメントを紹介しながらたどります。

## 【5月13日(土)クォーターファイナル:千葉ジェッツ戦】

### 千葉封じ、狙い通り

#### 3点シュート、1試合平均9.5本の千葉を4本に抑えて

**ウイスマン監督:** 守備でゲームプランに沿って動くことができた。  
**竹内選手:** 見方が外したシュートは全部自分にとるつもりでいる。  
**古川選手:** 全員でやるべきことができたのが一番。

## 【5月14日(日)クォーターファイナル:千葉ジェッツ戦】

### 22点差ひっくり返す大逆転:危機こそ守備から

#### 立ち返るべき場所がある。守備からリズムを生み出す。

**ウイスマン監督:** ファンの力なくしてはきょうの勝利はなかった。勝利を引き寄せたのはハートそのものだった。  
**選手・ファン:** 誰一人諦めていなかった。  
**須田選手:** 考えに無駄がなくなって、シンプルに『まずは守備から』とチームが一つになった。  
**田臥選手:** 最後まで諦めずに全員で一丸となって戦えた結果、そしてホームコートのファンの後押しがあって、あのような展開にできた。

**ギブス選手:** ( Dank を決めて ) 勢いを与えたかった。

**千葉・大野監督:** 悪い流れの時にチームを一つにできなかった。栃木は点差を広げてもギブアップしなかった。

## 【5月20日(土)セミファイナル:シーホース三河戦】

### スタイル貫き 危なげなく勝利

#### 守備対応と攻撃判断が光る

**ウイスマン監督:** 自分たちの流れで戦い、やりたいスタイルを買けた。  
**渡邊選手:** 勝つならこういう展開というイメージがあった。試合を通じて相手の嫌がる場所を突けた。  
**遠藤選手:** ディフェンダーとしてやりがいがあった。(金丸・比江島選手に対して) 同じレベルでできていることがうれしいし、楽しい。明日も最後まで守り抜きたい。  
**田臥選手:** 全員で話したが、これはこれで終わり、また明日しっかりやるだけ。CSだと一つのミスがいのちとりになる。もっと完成度を上げないと。

## 【5月21日(日)セミファイナル:シーホース三河戦】

### 諦めぬ 驚異の粘り

#### ファンの声:悔し涙は、もう見たくない

**ウイスマン監督:** これ以上の試合はない。三河に自分たちの力を試させられて、それを乗り越えることができ、楽しい試合だった。  
**熊谷選手:** (第4Q連続7得点で猛追の原動力、ウイスマン監督もあそこで点差を盛り返せたことが大きかったと感謝)(千葉戦欠場、三河戦第1戦活躍できず) 無様な姿で終わりたくなかった。この勢いで決勝も勝ち取る。  
**ライアン選手:** (1勝1敗のタイとなった直後のロッカールームで) 火曜日、またこのメンバーで練習がしたい。ここで終わりにたくない。

(残り5.9秒のタイムアウトで) 俺にボールをくれ!! (残り2秒で逆転シュートをねじ込む) コーチたちが素晴らしいプレーを作ってくれて、古川選手の素晴らしいスクリーン、ギブス選手の素晴らしいパスがあって決めることができた。

**古川選手:** (「金丸つぶし」を徹底、第3戦では金丸の動きが止まっていた) そのかわり、僕も足が棒ですよ!

**三河・鈴木監督:** 最後の21秒まで勝っていたが、最後には自滅だった。プレー中は会場の声援がすごく遠くの選手まで声が届かなかった。

## 【5月27日(土)CSファイナル:シーホース三河戦】

### BREX NATION

#### 歴史、記憶に刻まれる優勝

**ウイスマン監督:** このチームは強いハートを持ったチーム。タフな道のりを越えてよく戦った。これ以上、満足できる勝ち方はない。選手、そしてBREX NATIONの皆さんありがとう。君たちはチャンピオンだ。  
**竹内選手:** 最高のチームメイトと最高のファンに支えられて、最高の気分。  
**ギブス選手:** 昨シーズンは、ライアンから素晴らしいチームだと聞いていた。その一員になれてうれしい。  
**渡邊選手:** 長いシーズンだったが、誰も諦めなかったことが勝因。  
**遠藤選手:** シーズンを通してしっかりチームで戦ってきて、今日もチーム力で勝てたと思うし、ブルックスらしい勝ち方ができた。  
**須田選手:** 長いシーズンで良いときばかりでなかったが、全員で戦い抜いて最高の結果を出せてうれしい。  
**熊谷選手:** 一丸で戦った結果のチャンプ。このメンバーとスタッフ、ファンと優勝できてうれしい。  
**ライアン選手:** 素晴らしいチームだ。個人のチームではない良さを表現できた。そこが勝てた要因だ。  
**ブレントン選手:** アリガトウ。信じられない気持ち。この優勝で、自分のゴールをついに達成できた。  
**古川選手:** (MVPIに選出され) 自分一人ではなく全員の勝利。(来季の抱負を尋ねられ) まだまだバスケット界を盛り上げて、僕自身もステップアップしたい。  
**田臥選手:** 長いシーズンだったが全員で積み上げてきたものを信じて戦ってきた。チームが進むにつれて強くなって、CSでさらに形になった。  
**川崎・北監督:** 最後の最後までわからない展開だったが、一つのプレーの精度の違いで勝負が分かれた。  
**篠山選手:** 一個一個のプレーの精度が足りなかった。  
**辻選手:** もっと多くの川崎ファンにきてもらえるようにして、リベンジしたい。

9月には、2シーズン目が始まります。本当の勝負はここからです。BREXが連覇するよう、我々も共に戦いましょう。